

月例報告	
学部	国際文化
学科	国際文化
国名	タイ
留学先	タマサート大学
報告月	2018年8月
内容	<p>1.学習状況の報告</p> <p><科目名:Historical Background of Modern South East Asia> 私が最も学びたかった科目で、東南アジアの歴史について学ぶ2年生の授業です。科目名は「Modern Southeast Asia」ですがそれより前の歴史から学んでいます。またModernの内容には入っていません。 学期の前半は講義・後半はグループプレゼンテーションです。40人ほどのクラスですが、クラスに留学生は5人しかいません。タイ人の学生は、東南アジアの基本的な歴史はすでに知っているの、それをカバーするために日本から歴史の本を持ってきて予習してわかる、という感じでした。先生は中華系タイ人で、イギリスで博士号を取った人なので、ヨーロッパでは、という話もよくします。 まだ同じか受けていないので基本的な内容が多いですが、タイ人が自国の歴史をどうとらえていて、それがヨーロッパの認識とどう違うのかという話は面白いと思います。また歴史的背景や国の成長ぶりからか、タイ人が周りの国を軽視しがらだという話はこの授業を受けて初めて知りました。</p> <p><科目名:Thailand in Global Context> 国際社会とタイの関係について学ぶ4年生の科目です。タイ人の先生は新任で、イギリス英語がとてうまいですが話すのが少し早いです。タマサート大学の先生はイギリス英語の人が多い気がします。50人ほどのクラスですが遅刻する人が多く、授業中にうるさい人がいても先生は注意しません。 今は基礎の部分で「国際関係とは何か?」「グローバル化とは何か?」などについて様々な人の意見を参考にしながら学んでいます。毎回スライドを送ってくれるのでそれを見ながら復習していますが、4年生向けの授業なので分からない単語も多いです。この科目が一番苦戦すると思います。</p> <p><科目名:Gender and Sexuality in Southeast Asia> 私が登録しているIACではなく、SEAS(東南アジア研究)という学科の4年生の科目です。バンコクに来てから、日本ではあまり見ることのないジェンダーの人をとてもよく見かけるので興味がわき、履修することにしました。クラスは20人前後で留学生とタイ人学生が半分ずつくらいです。留学生は日本人が多いです。そのためか先生が日本のセックスやジェンダーについて調べて、タイと比較してくれるのですごく面白いです。 授業を受けていると、日本とタイではジェンダーの概念が違っていることがよくわかります。例えばタイのジェンダー概念を用いると、日本でいういわゆる「美少年」もジェンダーのどこかのカテゴリに分類される可能性がある、などです。感覚的に違和感があることもありますが、なるほどと思われれることが多いです。</p> <p><科目名:Communication Skills in English> 英語の会話練習、プレゼン練習などがメインの2年生の科目です。生徒が話す時間が授業時間の半分ほどあります。先生が初回の人と変わったので、今の先生の授業はまだ1回しか受講していませんが、今回は宿題として分間のプレゼンテーションが出されました。</p> <p><科目名:Elementary Thai as a Foreign Language> 留学生用のタイ語の授業です。今は文字の読み書きをしていますが、事前に練習していたので進度は少し遅いと感じます。自習ではタイ語の発音練習はなかなかできないので、タイ語のスピーキングを確認するいい機会になっています。</p> <p><語学について> 英語とタイ語の勉強をしています。 英語私が通っているタープラチャンキャンパスは、ほとんどの授業が英語です(法政大学のGISのようなイメージ)。ですので、学生のほとんどが英語に堪能です。4年生の授業は難しい単語が分からなくなりますが、学生や先生がフレンドリーで丁寧に教えてくれるので何とかこなしています。先生によっては授業中にタイ語を多用する人もいるので、そのような授業は取らないようにしました。まだ宿題があまり出ないので、語彙を増やすこと、会話の中でも正しい文法を伝えるようになることを目指して単語と文法に比重を置いて自主学習しています。</p> <p>タイ語:週に1度のタイ語クラスのほかに、自習、パティ(後述)によく教えてもらっています。まだまだですが文字は少し読めるようになってきました。</p> <p>2.生活状況の報告</p> <p>パティ 留学生のサポート役として、希望制でタマサート大学が学生を1人つけてくれています。とてもいい人で、出国前は住居探しの手伝いや、大学周辺の基本設備の案内をしてくれました。また休日にはボランティア活動や観光地の案内、タイ語学習の手伝いなど、本当にいろいろなお手をしてくれます。まだ1か月ですが、彼女がいなかったら留学生活はこんなに充実していなかったのではないかとうらやまです。本当に運がよかったと思います。今後は一緒に旅行する計画を立てています。</p> <p>・住居 大学から徒歩15分ほどの3という大学アパートに住んでいます。アジアから来た留学生の多くがここに住んでおり(欧米系に人気な別のアパートもあります)、中にはタイ人の高校生や社会人、タマサート大学の先生もいます。留学生たちの間でのアパートは有名で、私もさまざまなブログや報告書でこのアパートについての記事を読みました。ですが情報があまり多くなく留学前の住まい選びに困ったので、住んでみて良かったことを詳しく書いておこうと思います。</p> <p>【基本情報】 ・名称:31 court(通称31) ・タマサート大学タープラチャンキャンパスから徒歩15分程度 ・建物は全部で4棟あり、約600部屋ある。</p> <p>【基本料金】 ひと月当たりの値段です。 ・部屋代:5300~7000バーツ(1バーツ約3.5円、部屋の広さによります) +水道代・電気代 1000バーツ前後 +基本サービス料(一律) 350バーツ +週一回の掃除とシーツ・タオル類の交換(希望制、洗濯かごとゴミ箱、ハンガー付) 700バーツ</p> <p>・最初の月はデポジットでひと月分のお金を預けます ・私はハウスダストアレルギーがあるので掃除サービスを利用しています</p> <p>【部屋の設備】 ・屋根・物干しお付ベランダ ・エアコン ・キヤベネット ・専用ラック ・(部屋によるがドレッサー) ・Wi-Fi(たまに繋がりにくい) ・勉強机(デスクライトは部屋による) ・電話機 ・シャワー、洗面所、トイレ(様式、タイ式のウォッシュレット付き。すべて機能に問題はないです。どこでもそうです水道水は飲めません) ・キーチェーン付きドア ・テレビ(私はなぜか最初の月はなかったです、タイ語の番組のみ映ります) ・冷蔵庫(これも最初の月はなかったです。ほかの人は全員あったようです。)</p> <p>【アパートとしての設備】 ・24時間セキュリティ:棟に入るためには、部屋の鍵のほかに、初めに渡されるカードキーが必要です。 エレベーター ・洗濯機:1回20~30バーツです。機種によっては動かないことがあるようです。 ・クリーニング屋さん:洗濯のみ30バーツ。洗濯+乾燥機は60バーツ。ワイシャツなどは一着当たり15バーツでハンガーにかけて干してくれます。洗濯は1回2着までと案内に書いてありましたが、洗濯機に入る基準というだけなので、それより多くても大丈夫です。数えていないです。洗濯機より確実なので私はこちらを利用しています。洗濯のみは1時間、乾燥機もたいがい半日で終わります。 ・食堂:24時間営業の食堂があり、多くの人が利用します。メニューが豊富で、一食30~50バーツです。作る人によって味が変わるので飽きないし、おいしいです笑。お菓子やアイスも売っています。 ・郵便局:まだ利用したことがないですが、エメールも出せるそうです。 ・自習室:棟によって有無がありますが誰でも利用できます。部屋よりもWi-Fi環境がいいのですが、自習は部屋や大学でも十分できます。 ・受付:朝7時から夜8時までスタッフが在中しています。英語が話せるスタッフとそうでないスタッフがいます。この時間以外も、事務所に人がいます。 ・ゴミ箱:部屋で出たゴミは共同のゴミ箱に入れておけば回収してもらえます。</p> <p>【アパート周辺の設備】 ・セブンイレブン:アパートの目の前にあります。商品の種類は違いますが品揃えのイメージは日本と同じです。いつでも使えて便利です。 ・食べ物屋台:朝と夜で違う屋台が出ます。一食当たり30バーツからなので安いですし、おいしいところが多いです。タイ語メニューしかないところもあるので、タイ語の練習がてら利用しています。 ・バス停:大学近くまで行くバスもありますが、朝と夕方は渋滞するので、歩く方が早いこともあります。近くのショッピングモールや、BTSという鉄道の駅まで行くバスもあります。バイクタクシーの停留所もあります。時刻表はないのでこればかりは使って慣れるしかないです。 その他、マッサージ屋さんや美容院などもあります。住むには便利だと思います。野良犬や猫はいますが、こちらが何かしなければ何もありません。</p> <p>【住んでみての感想】 事前に読んだ記事の通り吉いことは確かですが、汚いとはあまり感じませんでした。吉いけれど清潔に保たれている、というのが私の感想です(雨季はどうしてもバスルームにカビが生えるので自分でカビキラーを買って掃除しました)。アパートの周りはいろいろなものがあって雑然としている一方、設備が充実しており、大通りにも面しているので安全面の心配もあまりないと思います。 ホテルや日本並みのきれいを求めるのであれば、ほかのアパートやコンドミニアムを探したほうがいいです。ですが留学生のコミュニティがあり、日常生活や通学に困ることもないので、私にとっては住みやすい環境です。</p> <p>・健康面 2週間に1回くらいおなかを壊しますが、おなか痛くなるわけではないしすぐ治るのであまり気にしていません。食事と睡眠には気を付けているので、今のところ特に問題はないです。</p> <p>3.その他(今、感じていること~心境の変化やご自分の成長等) ・一か月経過してきての感想と今後について 約1か月経過してみて、本当にあっという間でした。大きなけがや体調不良がなくてよかったです。法政大学の春季インターンシップの際にタイで1か月過ごしたので、なじむのは早いかなと思っていましたがそんなことはありませんでした。正直ここまで慣れるのに精いっぱい、で、成長したというのはまだ感じていません。ですが最近授業の受け方や一日の過ごし方が分かってきたので、今後やろうと思っていることを書いておきます。</p> <p>・シーカー-アジア財団が行っているバンコクのクロノイسلامでのボランティア活(春季インターンシップでお世話になった、SVAの方から紹介していただきました) ・タイ日本人学生会でイベントを開催する(前年度にタイ留学していた先輩から引き継ぎました)</p> <p>通学時間が日本の6分の1なうえにアルバイトもないので、思っていたよりも自由時間が多いです。今後授業も忙しくなると思うので、勉強との両立をしながら、どのくらい活動にかかわっていくかを見極めつつ行っていきたいです。</p>